九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[01_02]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1470489

出版情報：九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 1 (2), 2001-10. 九州大学情報基盤センター
バージョン：
権利関係：

キャンパスインフォメーションシステム

伊東 栄典*

平成13年3月，学内の情報通信環境を整備するために,「キャンパスインフォメーションシステム」および「情報ネットワーク活用支援システム」を導入しました。「キャンパスインフォメーションシステム」は，下記三つの部分システムから構成されています。

- キャンパスインフォメーション端末装置
- キャンパスインフォメーションサーバ
- キャンパスインフォメーション支援システム

本稿ではこれらのシステムについて紹介します。

1　キャンパスインフォメーション端末装置

このサブシステムは主にパーソナルコンピュータ (以下 PC) から成ります。現在，インターネットは教育や研究，生活に不可欠な情報基盤になっています。そこで，ネットワークを介して様々な情報を利用する環境を充実するために，学生あるいは教職員が利用できる PC 端末を設置した「情報サロン」と呼ぶ施設を学内数箇所に設置します。機器構成は導入組織により一部異なっていますが，基本的に Windows2000 を搭載した PC 端末を設置することになっています。

情報サロンが整備される場所を表 1 に示します。

表 1: 情報サロン

設置場所	整備内容
中央図書館	第二情報サロンを 4 階に新設。20 台の PC を設置。
附属図書館医学分館	現有の情報サロンに 20 台の PC を増設。
附属図書館六本松分館	現有の情報サロンに 16 台の PC を増設。
筑紫地区図書室	現有の情報サロンに 15 台の PC を増設。
工学部図書室 (保存図書館)	現有の情報サロンに 20 台の PC を増設。
箱崎地区課外活動共用施設	情報サロンを新設。10 台の PC を設置。
留学生センター	情報サロンを 1 階ロビーに新設。12 台の PC を設置。
国際交流会館	情報サロンを新設。35 台の PC を設置。
21 世紀交流プラザ	情報サロンを新設。15 台の PC を設置。

*九州大学情報基盤センター研究部
E-mail : itou@cc.kyushu-u.ac.jp

図1にキャンパスインフォメーション端末装置の概念図を示します。

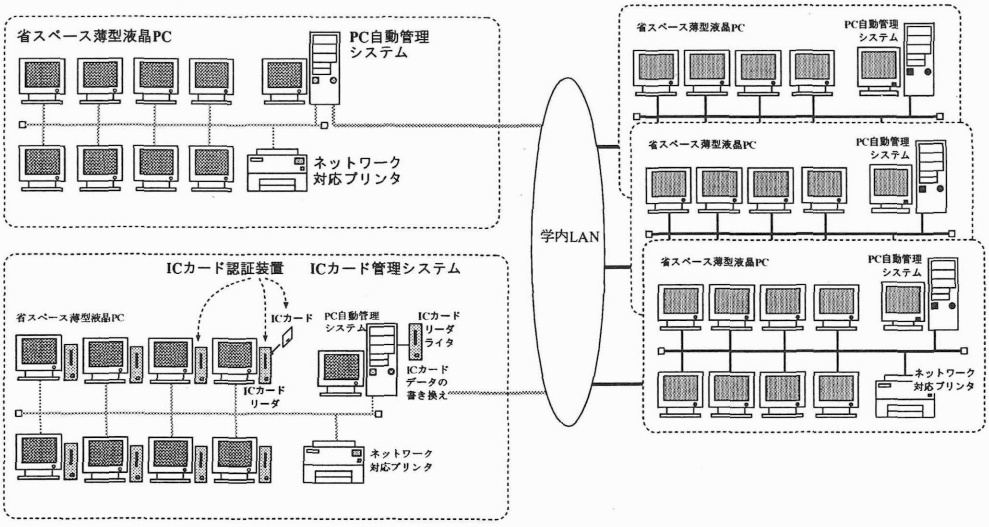

図 1: キャンパスインフォメーション端末装置

各情報サロンに設置されるPC端末は，富士通社の「FMV-6800CX6」です。OSとしてマイクロソフト社のWindows2000が搭載されています。また，ソフトウェアとしてマイクロソフト社のOffice2000が利用可能です。附属図書館，留学生センター，国際交流会舘では日本人以外の方が利用される事が多いため，多国語に対応するように設定されています。詳細な利用方法につきましては，運用部局にお尋ね下さい。

2 キャンパスインフォメーションサーバ

このサブシステムは情報提供を行なうためのデータベース(DBと略称)で構成されています。核となる主DBサーバ，DB開発あるいはDB利用のためのPC群，および周辺装置としてのプリンタやWWWサーバから構成されています。これらを利用して，学内向けの情報提供サービスを行なう予定です。

図2にキャンパスインフォメーションサーバの概要を示します。

3 キャンパスインフォメーション支援システム

このサブシステムは，電子掲示版やキオスク端末など，具体的に情報提供を行なうための機器から構成されています。図3にキャンパスインフォメーション支援システ

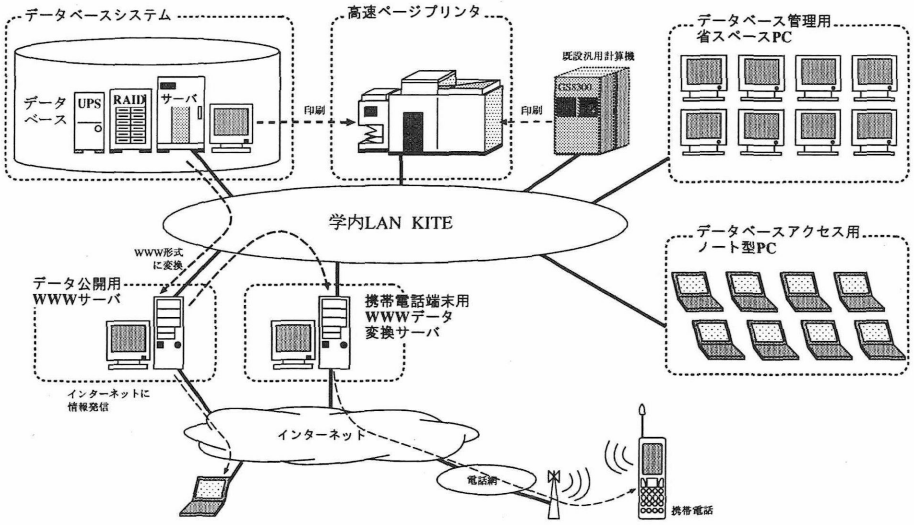

図 2: キャンパスインフォメーションサーバ

ムの概要を示します。

情報アクセスキオスク端末

学内各地に設置されるキオスク端末は，設置場所の建物案内などに用いられる予定です。実際には導入組織で利用方法は異なります。

電子掲示板システム

電子掲示版システムは，大型のプラズマディスプレイと，ノート型 PC から構成されています。PC の画面出力をディスプレイに表示することで，掲示内容を画面に掲載します。また，ネットワークから遠隔制御する仕組みも導入しています。

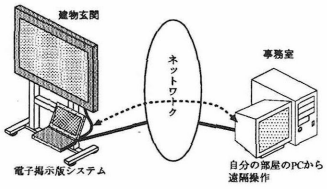

表 2 に、情報アクセスキオスク端末および電子掲示版システムの設置場所を示します。

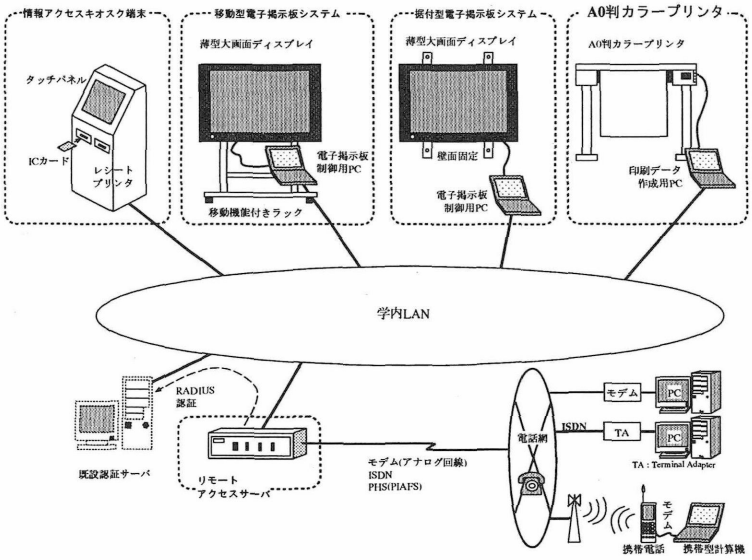

図 3: キャンパスインフォメーション支援システム

表 2: キャンパスインフォメーション支援システム設置場所

種類	設置場所
情報アクセスキオスク端末	中央図書館 附属図書館医学分館 附属図書館六本松分館 筑紫地区図書室 情報基盤センター 事務局第一・二庁舎 記念講堂 21 世紀学生交流プラザ
電子掲示版システム	中央図書館 附属図書館医学分館 附属図書館六本松分館 筑紫地区図書室 課外活動共用施設 国際交流会館 情報基盤センター 事務局第一・二庁舎 記念講堂 21 世紀学生交流プラザ 国際研究交流プラザ

A0判カラープリンタ

A0判の大きさで印刷可能なカラープリンタです。情報基盤センターで利用可能です。専用ドライバを組み込む事で，WindowsまたはMacintoshから印刷データを作成可能です。また，ポストスクリプト3形式のデータも印刷可能です。印刷方法の詳細については，情報基盤センター研究用システムの下記WWWページでも参照可能です。

http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/service/a0printer.html

ただし，このA0判カラープリンタを利用するためには，情報基盤センター研究用システムへの登録が必要です。なお，登録可能な方は国内の研究機関所属の方のみです。利用登録については情報基盤センター共同利用掛(内線:2305, kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp)へお尋ね下さい。

リモートアクセスサーバ

平成12年4月より，情報基盤センターでは，学内の学生・教職員向けに,「リモートアクセスサービス」と名付けた電話回線によるインターネット接続サービスを提供しています。混雑を解消するためにリモートアクセスサーバを増強し，利用回線を増加します。

リモートアクセスサービスについては，下記をご参照下さい。

- 学生
  情報基盤センター編：“教育用システム 利用の手引 2001年度版”
  http://www.cse.ec.kyushu-u.ac.jp/manual/Tebiki2001/tebiki.html
- 教職員
  伊東栄典：“リモートアクセスサービスの利用方法”
  情報基盤センター 広報(学内共同利用版), Vol.1, No.1 pp.20–32, 2001.

4　おわりに

今年度導入される「キャンパスインフォメーションシステム」について概説しました。この記事を執筆している現在(2001年9月)，システムの導入は完了していないため，実際に利用する場合，この記事の内容と異なる可能性があります。情報サロンのPC端末などを利用する場合，使い方などにつきましては運用部局にお尋ね下さい。

病院地区
附属図書館医学分室
図書館
医療技術短期大学
運動場
医学部附属病院
薬学部
歯学部附属病院
正門
東門
N
箱崎地区
野球場
課外活動共用施設
運動場
医学部
留学生会館
附属図書館
文系地区
理学部
情報基盤センター
記念講堂
21世紀交流プラザ
事務局第二庁舎
事務局第一庁舎
小松門
工学部
3号線
正門
工学部図書室
JR
鹿児島線
国際交流会館
箱崎地区
福岡
I.C.
馬出地区
新幹線
国際研究
交流プラザ
博多駅
福岡空港
九州自動車道
福岡市営
地下鉄
JR筑肥線
六本松地区
西鉄
大牟田線
JR
鹿児島線
太宰府
I.C.
筑紫地区
六本松地区
附属図書館六本松分室
図書館
本館
2号館
3号館
1号館
4号館
体育館
N
筑紫地区
筑紫地区図書室
その他
国際交流会館(香椎浜)
国際研究交流プラザ(西新)

図 4: 設置場所